

新たな接点を生み出す クリエイション・コア名古屋の「0号室支援」

開かれたインキュベーション施設は、ビジネスの新たな広がりをつくりだす。

「0号室」というのは、入居していない地域の企業、創業予定者、個人事業主のみなさまのこと。クリエイション・コア名古屋(CC名古屋)では、インキュベーションマネージャー(IM)が、入居している企業以外にも入居企業同様の支援を提供することを目的に、「0号室支援」と名付けてビジネスに関する様々な相談を受けている。

好循環を生み出す 「0号室支援」

「これまで、本当に様々な相談が寄せられてきました。こちらが一生涯懸命調べないとわからないことも多いです」(速田IM)誰からでも、どんな相談事でも真摯に受ける理由は、自分の守備範囲を超えた分野であっても、自らも学びながら、相談者と共に課題に取り組む過程こそが大切だからだという。「『0号室支援』は修行の場、他流試合であり、こちらが一番勉強になっています。そこで培った知識や経験が他の相談、入居者支援に役立っていて、支援の好循環を生み出しています」(速田IM)

「0号室」から生まれる 新たなつながり

0号室へ寄せられた相談によって、様々なつながりが生まれている。「例えば、大学の先生とは、OB企業と共同研究をすることになったり、

たまたま相談に来たベンチャー企業とは、入居企業の事業とつながるものがあり、連携することになりました。

HP作成会社や印刷会社なども、相談の内容が入居企業のニーズと重なることがあり、結果的に入居企業のHPを作成してもらったり、企業のパンフ等の印刷物を作成してもらったり、新たなつながりを生み出しています」(速田IM)

誰にでも 丁寧なサポートを

「この間参加したセミナーで時間がなくて聞けなかった、速田さんの話をもっと詳しく聞きたいのですが…」「0号室支援」では、速田IMが講師を務めたセミナー参加者からのこんな要望も大歓迎。



↑参加者の質問に応える「0号室支援」



速田 義博
クリエイション・コア名古屋
インキュベーション・マネージャー

他にも「例えば、フレンチレストランの創業者から創業補助金申請について相談を受けたときは、一緒にブラッシュアップを行いました。さらに、シニア創業者からは、創業時の事業計画や手続きについて相談を受けました」(速田IM)その他、補助金やマッチングイベント、展示会、中小機構の支援メニュー等の紹介、新聞掲載や資金調達についてのお手伝いなど、誰に対しても入居企業と変わらぬサポートを行っている。

「0号室」では、誰かの相談が他の誰かのニーズとつながっているかもしれない。「多くの皆さんにご活用いただければそれだけ相乗効果が期待できると思っています。どこに相談すればいいかわからないからという話でも結構ですので、是非、気軽にお越しください」(速田IM)